
Wリボンプロジェクト 2023 報告書

Double Ribbon Project 2023 Report



STOP Violence

～あなたはひとりではない～

Wリボンプロジェクトって何？

DVと児童虐待。昨今、報道等で、悲惨な事件が伝えられない日はないといっても過言ではありません。

また、内閣府の令和5年度(2023年度)調査では、約4人に1人が配偶者からの暴力を受けたことがあり、女性の約4人に1人、男性の約5人に1人が被害を受けたことがあるという結果が出ています。

吹田市では、DVと児童虐待が密接に関連していることを、あらためて認識し、DV防止対策と児童虐待防止対策を一体として進めていかなければならないと考え、女性に対するあらゆる暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせて、吹田市独自で「W(ダブル)リボンマーク」を考案しました。

このマークを旗印に、平成23年度(2011年度)から、「Wリボンプロジェクト」として、DVや児童虐待に係る講座の開催やマークのピンバッジであるWリボンバッジの販売などを実施し、「あなたはひとりではない STOP Violence」というメッセージを伝えています。

家庭や学校、地域など社会全体に暴力防止への深い理解と関心が広がり、地域や企業などと連携し、DVや児童虐待など「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現をめざします。



吹田市オリジナルデザイン
「W(ダブル)リボンマーク」

Wリボンバッジ

社会全体に暴力防止への深い理解と関心を広げて、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」というメッセージを届けましょう。



1個 300円 (100個以上は20%割引になります。)

販売場所 吹田市役所 人権政策室(134番窓口)
及び吹田市立男女共同参画センター

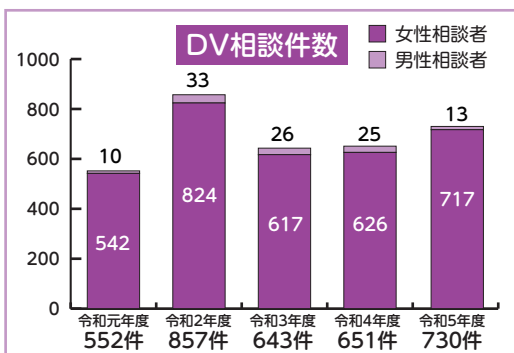
問合せ 吹田市立男女共同参画センター
TEL:06-6388-1451

※売上金の一部がダブルリボンプロジェクト基金に積み立てられ、DV及び児童虐待の防止事業に活用されます。

DVと児童虐待の現状

吹田市では、平成23年(2011年)4月に、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション(DV相談室)」を開設し、総合的なDV防止対策を進めています。また、DVを「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つのステージで捉え、それぞれ施策を推進しています。

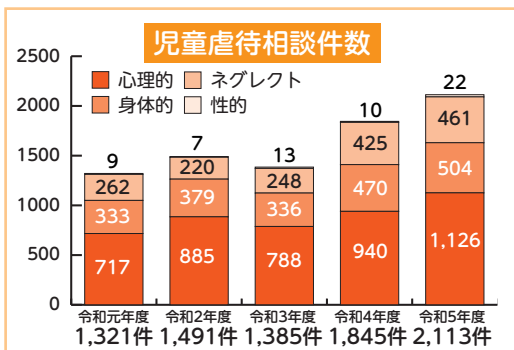
DV相談の件数は、DV相談室開設以降、年々増加の傾向にあり、近年、500件を超えて推移しています。



令和5年度(2023年度)は730件となっており、令和4年度(2022年度)より増加、また過去5年間の平均を上回っています。貧困や傷病、障がい、児童虐待等、様々な要因が重なり、内容が複雑化する傾向にあり、関係機関とのより一層の連携が必要となっています。

児童虐待相談件数については、全国的にも増加傾向が続いている中、本市においても令和5年度(2023年度)の相談件数は2,113件と、令和4年度(2022年度)と比較して268件の増加となりました。また、令和5年度(2023年度)末時点の吹田市児童虐待防止ネットワーク会議(要保護児童対策地域協議会)の台帳登録児童数が令和4年度(2022年度)末時点と比較して増加し、対応が困難な相談事例も増加している状況です。

虐待相談内容の傾向としては、心理的虐待が相談件数全体の半分以上を占めており、これは、主に子供の面前でのDVや兄弟姉妹への虐待を目撃することによる心理的な虐待によるもので、家庭の中で起こる暴力の子供への影響は深刻なものとなっています。



本市では吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関と密に連携しながら、支援を必要とする児童の早期発見、早期対応、虐待の再発防止に努めています。

児童虐待防止・子育て支援講座

11/11(土)午後2時～午後3時30分

まなぼう!親子のモヤモヤ解決メソッド

『こども六法』の著者であり、教育研究者、ミュージカル俳優、写真家など多彩な顔を持つ山崎聡一郎さんを講師に、親子の対話をテーマにお話を伺いました。

困ったときに子供はどんなふうに大人に相談をする?大人は困っている子供の話をどんなふうに聞く?そんなお悩みについて山崎聡一郎さんと一緒に考えてみました。

参加者アンケートでは「大人が話を聞いてくれないという部分にドキッとした」などの意見がありました。



Wリボンシアター

11/17(金)午前10時～午前11時30分、
午後1時30分～午後3時

共に歩く (2014年・日本)

両親から愛されずに育った女性や、自傷癖のある子供等、つらくても離れられない様々な「家族」を描いた人間ドラマ。

受講者からは「重い内容でしたが観ることができて良かった。考えさせられる内容でした」との感想をいただきました。



(c)2014「共に歩く」
製作委員会

情報ライブラリーの図書紹介

情報ライブラリーは、男女共同参画社会の実現を目指し、学びとネットワークを育むスペースです。

例年、イベントのテーマに合わせて関連図書の紹介を行っています。場所は男女共同参画センター(デュオ)の1階です。



講演会

11/5(日)午後1時30分～午後3時30分

大人に知ってほしい あらゆる暴力から子どもの心と体を守るCAPプログラム

講師：田上時子(たがみときこ)さん(NPO法人女性と子どものエンパワメント関西理事長)



暴力防止や人権教育などに関する事業に取り組んでいるNPO法人女性と子どものエンパワメント関西・理事長の田上時子(たがみときこ)さんをお迎えして、いじめや誘拐、性暴力などあらゆる暴力から自分を守る方法を子供たちに伝える「CAPプログラム」について、講義とロールプレイで分かりやすく説明していただきました。

受講者からは、「子供を守るためと思い参加しました。子供は力を持っているということ、そして、その力を引き出し、信じることの大切さを知りました」との感想をいただきました。

啓発ポスター作成

サッカーJリーグ・ ガンバ大阪との協力

吹田市をホームタウンとするガンバ大阪とのコラボレーション啓発ポスターを作成し、市内の公共施設や小中学校等へ配付しました。また、吹田市役所1階のデジタルサイネージや吹田市ホームページに掲載しました。



ライトアップ

11/1(水)～11/10(金)

Wリボンカラー ライトアッププロジェクト

高さ日本一の観覧車、OSAKA WHEEL (オオサカホイール) (EXPOCITY内)をWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。



ダブルリボンプロジェクト基金

Wリボンバッジは多くの方々に御購入いただき、その趣旨に賛同いただきました。その方々の暴力防止への思いを何かにできないかと考え、平成26年(2014年)3月末に「ダブルリボンプロジェクト基金」を創設しました。



なお、Wリボンバッジ(すいたんバージョン含む)は令和6年(2024年)3月末で累計約29,000個御購入いただきました。

基金には、バッジの売り上げの一部や皆様からの御寄附が積み立てられ、その基金は、様々な啓発活動に加え、中学生に向けたデートDV予防啓発や児童虐待防止啓発講演会の開催等、DV及び児童虐待の防止対策の財源として活用しています。

令和5年度(2023年度)、基金には、

34件
681,408円

の御寄附をいただきました。



吹田市すいたん

ダブルリボンプロジェクト基金収支

令和5年(2023年)3月末現在基金残額	8,523,588円
1 収入	943,929円
寄附金	681,408円
Wリボンバッジ売上金の一部	262,452円
利息	69円
2 前年度繰戻金	238,352円
3 支出	1,034,000円
DV及び児童虐待防止対策に係る事業費に充当するための繰出金	1,034,000円
基金残額(令和6年(2024年)3月末日現在)	8,671,869円

* 寄附金は1月1日から12月31日までいただいた金額の合計をまとめて基金会計に積み立てます。

基金は、 「暴力のない安心安全のまち、すいた」 の実現のために活用します

若い世代における交際相手からの暴力＝デートDVを予防するため、正しい知識や対等な人間関係を築くことの大切さを伝える授業を行いました。令和5年度(2023年度)は大学生ユースリーダーとともに、市内の中学校14校に出向きました。



デートDV予防啓発出前講座(中学校)

市内の商店街では、お店の入口や店内にWリボンマークのステッカーを貼っていただき、普及啓発に御協力いただいています。



吹田市では、職員が着用する作業服や防災服、帽子等にWリボンマークをデザインし、普及啓発に取り組んでいます。



Wリボンプロジェクト支援自動販売機

学校法人西大和学園大和大学と、吹田市文化会館メイシアターに設置された「Wリボンプロジェクト支援自動販売機」です。Wリボンマークを施したラッピング自動販売機で、売り上げの一部がダブルリボンプロジェクト基金に寄附されます。様々な企業、団体の御協力で市内各地に32台設置されています。



メイシアター



大和大学

吹田市内郵便局との包括連携協定に基づく取組

郵便局は日々多くの市民が利用する施設です。市内郵便局と連携した啓発活動を行い、広く市民にメッセージを届けています。



郵便局窓口



郵便車

Wリボンマークの輪全国へ

DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W(ダブル)リボンマーク」が全国各地で使用され、活動を広げています。

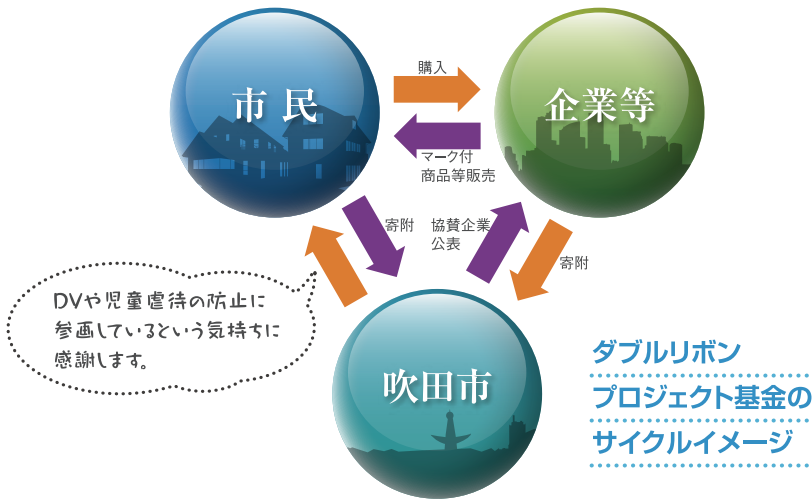
Wリボンマークは使用申請いただければ、御自由に利用いただけます。昨年度も13件の使用申請があり、全国にWリボンの輪が広がっています。



この基金は、DVや児童虐待の防止の啓発などを通し、
「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現のために活用します。

この基金への寄附を募集しています。

あなたの寄附で、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」という
メッセージを伝えるとともに、「暴力のない安心安全のまち、すいた」が実現するよう応援をお願いします。



ふるさと納税制度を活用して 応援をお願いします。

個人の方が地方公共団体に寄附をいただいた場合、「ふるさと納税」制度の対象となり、2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。

※法人の寄附は、寄附金相当額が損金算入できません。

【寄附方法】

- ① 所定の申込用紙に必要事項を記入し、寄附をお申し込みください。
- ② 最寄りの金融機関等でご入金をお願いいたします。
- ③ 金融機関でお渡しする領収書(これが寄附金受領証明書になります。)を大切に保管してください。
- ④ 確定申告時期に確定申告を行ってください。(上記の領収書が必要です。)

詳しくは下記までお問い合わせください。

吹田市市民部 人権政策室 (ダブルリボンプロジェクト基金担当)

TEL.06(6384)1461

吹田市寄附申込書

吹田市長 宛

年 月 日

下記のとおり、ダブルリボンプロジェクト基金への寄附を申し込みます。

フリガナ	
1 氏名又は団体名	
2 団体の代表者名 (団体の場合のみ)	
3 住 所	〒 ー
4 電 話 番 号	() ー
5 寄 附 金 額	¥ 円
6 氏 名 の 公 表 (どちらかをお選びください)	※今回のご寄附について、お名前等を「市報すいた」や「本市のホームページ」等で公表することについて ☐ 同意する ☐ 同意しない
7 納 付 方 法 (お選びください)	☐ 市役所窓口払い (担当窓口：人権政策室) ☐ 吹田市指定金融機関、吹田市収納代理金融機関での納付 (納付書を後日送付いたします。) ☐ 市の口座へ直接お振込み りそな銀行 吹田支店 普通 0339311 すいたしだふろりぼんぷろじえくとききん 吹田市ダブルリボンプロジェクト基金 (手数料はご負担となります。) ※振込予定日 年 月 日 ☐ 現金書留 (郵送料等にご負担となります。)

※いただきましたご寄附は、全額を「ダブルリボンプロジェクト基金」への指定寄附として積み立てます。

寄附申込先：吹田市市民部人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL：06-6384-1461 FAX：06-6368-7345

キ
リ
ト
リ

ダブルリボンプロジェクト基金への 寄附をお願いします

- ① 9 ページの申込書に必要事項を記入し、人権政策室まで寄附をお申し込みください。
- ② 次のいずれかの方法で御入金をお願いいたします。
 - ① 申込書に記載している振込先に入金する
 - ② 市役所窓口払い（人権政策室の窓口）
 - ③ 現金書留（人権政策室宛）
- ③ 金融機関等でお渡しする領収証書を大切に保管してください。
- ④ 確定申告書に上記の領収証書を添えて確定申告してください。
（ふるさと納税制度の対象となり、2,000 円を超える部分について、
一定限度まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。）

2023年度

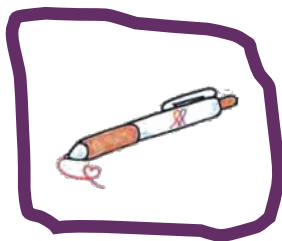
「Wリボンプロジェクト」協賛事業者等一覧

アサヒ飲料販売株式会社
オリエンタル酵母工業株式会社大阪工場
株式会社河崎ユニフォーム
株式会社ガンバ大阪
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
協同組合佐竹ショッピングセンター
吹田企業人権協議会
団地管理組合法人吹田さんくす
一般社団法人吹田市医師会
一般社団法人吹田市歯科医師会
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会
公益財団法人吹田市文化振興事業団
一般社団法人吹田市母子寡婦福祉会
吹田市中通商店街組合

一般社団法人吹田市薬剤師会
吹田ロータリークラブ
泉州電業株式会社
千里山商栄会
高野台 B1 商店会
株式会社ダスキン
トナリエ南千里テナント会
学校法人西大和学園大和大学
株式会社ビケンテクノ
日の出商店会
北越コーポレーション株式会社大阪工場
北港情報サービス株式会社
株式会社山久

（50 音順、敬称略）

多くのみなさんの御協力、ありがとうございました。



お使いください Wリボンマーク

DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W(ダブル)リボンマーク」を使用して活動を広げていただくために、申請いただければWリボンマークを自由に使用いただけることにしています。

Wリボンマークはポスター、文房具など自由に使えます。

Wリボングッズを身近に置くことで、家庭や地域、学校などに女性や子供に対する暴力防止への深い理解と関心を広めてみませんか。

Wリボンマークを使用するには、「Wリボンマーク使用要領」を参考の上、申請してください。詳しくは人権政策室(06-6384-1461)までお問合せください。

<https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018573/1018585/1018591/1006427.html>



Wリボンプロジェクト2023報告書

令和6年(2024年)10月

発行/吹田市

編集/市民部 人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号

